

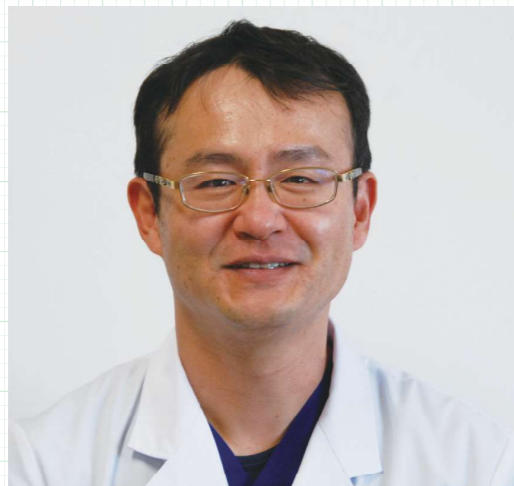
産婦人科

千葉県北総地域の基幹病院であり、また千葉大学研修プログラムの関連施設として当科では様々な産科婦人科疾患を数多く経験することができます。産婦人科研修においては、周産期領域、婦人科腫瘍領域、生殖内分泌領域、女性のヘルスケア領域の4領域が必要となりますが、当科ではいずれの領域も学ぶことができる千葉県内において数少ない施設です。

産科は、平成24年度から地域周産期センターの認定を受け、成田市を中心とした印旛及び隣接医療圏における周産期医療の中核をなしております。NICUを併設しており、妊娠23週からの母体搬送を受け入れ年間100件前後(平成30年92件)の母体搬送を受け入れております。母体管理から出生後の新生児管理まで産婦人科と新生児科で連携して行っております。分娩は毎年500-600件(平成30年583件)を取り扱っております。合併症を有したハイリスク症例が多く、様々な症例を経験することができます。

婦人科は子宮筋腫などの良性疾患から子宮ガン、卵巣ガンなどの悪性疾患まで様々な疾患の治療を行っております。外来診療における基本的な婦人科診療方法、検査方法や治療法を学ぶことができます。また婦人科手術は毎年400件前後(平成30年372件)行っており、開腹手術、経腔的手術、腹腔鏡手術、子宮鏡手術を行っております。手術治療に関しても、手術に見学だけではなく、積極的に助手として携わっていただくことから、基本的な手術手技や術後管理のみならず、様々な産婦人科手術について学ぶことができます。地域がん拠点病院として印旛山武地域におけるがん診療の中核を担っており、子宮頸ガン、体ガン、卵巣ガンなどの悪性腫瘍の治療も行っていることから、化学療法についても学ぶことができます。

不妊治療も、タイミング法やホルモン療法から、人工授精(AIH)、体外受精・胚移植、凍結胚移植などといった治療まで行っており基本的な手技を学ぶこともできます。



産婦人科研修指導責任者

小幡 新太郎

第一産婦人科部長 / 日本産婦人科学会専門医、日本産婦人科学会指導医 母体保護法指定医、NCPR(新生児蘇生法)インストラクター 周産期新生児医学会指導医、専門医(母体・胎児) 厚生労働省医政局長認定臨床研修指導医

■研修指導医
第二産婦人科部長 / 杉田 達哉
地域周産期科部長 / 清水 久美子
産婦人科副部長 / 山ノ内 美紀
産婦人科医師 / 佐藤 史朗

01 研修期間

1年以上、応相談

02 目的

- (1) 日本産婦人科学会専門医取得に必要な症例を経験する。
- (2) 外来診療、入院診療、救急症例、手術を通して、産婦人科診療に必要な知識や技術を身につける。

03 研修システムの特徴

- (1) 婦人科外来、産科外来を指導医のもとで担当し、外来診療の経験を通して基本的な知識、診断、治療を身に着けることができる。
- (2) 手術にも積極的に入ること、数多くの症例を経験し、基本的な手術手技を習得することができる。
- (3) 入院治療中の悪性腫瘍症例を指導医のもとで学び、標準的な化学療法の知識を習得することができる。
- (4) 救急患者が多いことから、救急の初期対応を数多く経験することができる。
- (5) 経験した症例を積極的に学会等で発表することで、知識の再確認ができ、発表能力、文献検索の能力を習得することができる。

04 代表的な週間スケジュール (定期的に行なわれている検査を含む)

	月	火	水	木	金
午前	外来手術	外来	外来	外来手術	外来手術
午後	外来手術	外来	外来	外来手術	外来手術
PM5時から	フィルムカンファレンス カンサーボード			NICU カンファレンス	

05 研修期間中に経験する病態・疾患・習得すべき手技

- 産科症例(妊娠高血圧腎症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、子宮内胎児発育制限、糖尿病合併妊娠などの合併症妊娠など)
- 婦人科症例(子宮筋腫、卵巣嚢腫などの良性疾患、子宮ガン、卵巣ガンなどの悪性疾患、月経不順、不妊症などの内分泌疾患など)
- 手術(帝王切開、流産手術などの産科手術や子宮摘出、卵巣摘出などの婦人科手術、および腹腔鏡手術)
- 検査(超音波検査、子宮卵管造影など)
- 分娩(分娩介助、胎児心拍モニタリングなど)

06 研修修了後の進路について

応相談。